BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド Easy Start 編

Revision 3.50

HITACHI

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 他社ソフトウェアのインストール作業は、お客様責任で行っていただきますようお願いします。ただし、
 弊社が止むを得ないと判断する理由により、お客様から事前の書面によるインストール作業の代行依頼が ある場合のみ、弊社が了承することを条件として作業を代行いたします。

登録商標と商標について

Adobe、Adobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Microsoft、Windows、 Windows Server は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における 登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

版権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved, Copyright (C) 2010, 2014, Hitachi, Ltd.

BladeSymphony Virtage Navigator

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator V03-05に対応している Easy Start 編です。 本機能の対応機種は、「BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編」でご確認ください。 なお、本資料での「」は参照を表しています。

目次

1	概要
2	適用条件
3	操作
	3.1 HVM 設定ファイルの準備
	3.2 Easy Start による HVM 設定や LPAR 追加
	3.2.1 サーバブレードの新設/増設時の Easy Start の実施
	3.2.2 LPAR 追加時の Easy Start の実施19
4	オプション機能
	4.1 BSM IP Addressの設定
	4.1.1 BS2000のBSM IP Addressの設定
	4.1.2 BS320のBSM IP Addressの設定
	4.1.3 BS500のBSM IP Addressの設定
	4.2 BS320のBI0Sの設定
5	注意事項
	5.1 HVM 構成情報をクリアした場合
	5.2 HVM 構成情報をリストアした場合40
	5.3 BS320の SVP バージョンが A1065 の場合 40
	5.4 Easy Start で HVM が起動しなかった場合4
	5.5 Code:30060201 が発生する場合
	5.6 Code:30068001 が発生する場合
6	トラブルシュート
	6.1 エラーコード一覧
7	障害時の対応について
8	アイコン一覧
9	変更来歴

1 概要

本マニュアルでは、Virtage Navigator を利用した Easy Start (HVM 設定機能)について説明します。 (以後、Virtage のことを HVM(Hitachi Virtualization Manager)と表記することがあります。)

サーバブレード新設、または増設時は、「図 1-1 Easy Startソリューションの概要図」に示す流れでBIOS/EFI 設定、HVM設定、およびLPAR設定を行います。

- (1) 発注者が発注内容記載ファイルを作成し、サービス担当部署に送付します。
- (2) サービス担当部署が発注内容記載ファイルを基に ENC 形式の HVM 設定ファイルを作成し、現地設定者 に送付します。
- (3) 現地設定者が HVM 設定ファイルを Virtage Navigator に読み込ませて、BIOS/EFI 設定、HVM 設定、および LPAR 設定をします。

本マニュアルで紹介するのは、Easy Start を利用する(3)の作業です。



図 1-1 Easy Start ソリューションの概要図

なお、Easy Startを利用して、既存の HVM に対して LPAR を追加することもできます。

2 適用条件

Easy Start では、サーバブレードのモデル、SVP バージョン、BIOS バージョン、および HVM バージョンによってサポート機能に違いがあります。

サポート機能については、サーバブレード別に下表をご確認ください。

【BS2000 モデルの場合】

表 2-1 Easy Start のサポート機能(BS2000 モデル)

HVM	サポート機能			
	BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定	
~58−5X ~78−5X	×	×	×	
58-6X∼ 78-6X∼	×	×	0	

O:サポート、 ×∶未サポート

【BS320 P4 モデルの場合】

表 2-2 Easy Start のサポート機能(BS320 P4 モデル)

ЫЛМ	サポート機能			
H V NI	BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定	
~17−4X	×	×	×	
17-6X~	×	0	0	

O:サポート、 ×:未サポート

【BS320 P5 モデルの場合】

表	2-3	Easy	Start	のサポー	ト機能	(BS320	P5	モデル)
---	-----	------	-------	------	-----	--------	----	-----	---

шум	SVD	RIOS	サポート機能			
11719	316	0103	BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定	
∼17-4X	—	_	×	×	×	
	~A1060	_	×	×	×	
17_64 17_07	A1065~A1070	_	×	0	0	
17-01~17-07	A1075~	~ G15	×	0	0	
		G16~	0	0	0	
	~A1060	_	×	×	×	
17 00	A1065~A1070	_	×	0	0	
17-00~	A107E	~ G15	×	Ö	Ö	
	A1075~	G16~	*	0	0	

O:サポート、 ×:未サポート、 —:バージョン問わず

【BS500 BS520H サーバブレードの場合】

表 2-4 Easy Start のサポート機能(BS500 BS520H サーバブレード)

HVM -	サポート機能		
	BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定
01-01~	×	×	0

O:サポート、 × :未サポート

【BS500 BS520A サーバブレードモデルの場合】

表 2-5 Easy Start のサポート機能(BS500 BS520A サーバブレードモデル)

H\/M	サポート機能			
117.00	BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定	
01-10~	×	×	0	
\frown μ μ μ μ μ μ				

O:サポート、 × :未サポート

【BS500 BS540A サーバブレードの場合】

表 2-6 Easy Start のサポート機能(BS500 BS540A サーバブレードモデル)

HVM	サポート機能			
	BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定	
01-20~	×	×	×	

O:サポート、 ×:未サポート

【BS500 BS520X サーバブレードの場合】

表 2-7 Easy Start のサポート機能(BS500 BS520X サーバブレードモデル)

	HVM	サポート機能			
		BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定	
	02-01~	×	×	×	
Ο∶サポート、	×∶未サポート				

【BS2500 BS520X サーバブレードの場合】

表 2-8 Easy Start のサポート機能(BS2500 BS520X サーバブレードモデル)

НУМ	サポート機能			
ET V NI	BIOS/EFI 設定	HVM 設定	LPAR 設定	
02-02~	× ×		×	

O:サポート、 ×∶未サポート

3 操作

3.1 HVM 設定ファイルの準備

サーバブレードの新設、増設、または LPAR の追加時に、Easy Start を利用して BIOS/EFI 設定、HVM 設定、 または LPAR 設定をする場合、HVM 設定ファイルを準備する必要があります。 サービス詳細については、日立営業窓口までお問合せください。

♪ 注意 HVM 設定ファイルおよびファイル名称を変更、または改ざんしないでください。 変更または改ざんした場合、本機能の動作を保証できません。

3.2 Easy Start による HVM 設定や LPAR 追加

サーバブレード新設時、または増設時と、LPAR 追加時のそれぞれの設定手順は、以下に示す通りです。

【サーバブレード新設時/増設時】



※1:「BladeSymphony BS2000 Virtage OS インストール手順書」の「HVM の起動」、「HVM の設定」を参照し、
 事前に設定してください。

※2:「4.2 BS320 の BIOS の設定」を参照し、事前に設定してください。

※3:「BladeSymphony BS500 サーバブレードセットアップガイド」の「サーバブレードの起動・停止 (HVM モード)」の内容のうち、「HVM の起動」までの手順を参照し、事前に設定してください。

【LPAR 追加時】



なお、Easy Startの最終段階では、実施結果としてエビデンスファイルが出力されます。エビデンスファイルのサイズは、1HVM あたり最大で 3.5MB になります。Easy Start 実施時は、設定対象の HVM 数に合わせて実施環境のディスク容量を確保しておいてください。

出力されるエビデンスファイルは、以下のとおりです。

表 3-1 Easy Start の実施結果を示すエビデンスファイル

No.	ファイル名称	説明
1	Report_BeforeSettings_[HVM 設定ファイルの名称]_[日時].csv	Easy Start 実施前の構成を表す CSV ファイル
2	Report_AfterSettings_[HVM 設定ファイルの名称]_[日時].csv	Easy Start 実施後の構成を表す CSV ファイル
3	Report_BeforeSettings_[HVM 設定ファイルの名称]_[日時].html	Easy Start 実施前の構成を表す HTML ファイル
4	Report_AfterSettings_[HVM 設定ファイルの名称]_[日時].html	Easy Start 実施後の構成を表す HTML ファイル
5	Report_AfterSettings_[HVM 設定ファイルの名称]_[日時].enc	HVM 設定ファイルと同種のファイル

※No.1~4のファイルにより、実施結果を確認することができます。

また、当該 HVM に対し、全く同じ設定をし直す必要がある場合は、No.5のファイルをご使用ください。 ただし、No.5のファイルを変更または改ざんし、本機能を実施した場合、動作を保証することはできません。 ▲ 注意 Easy Start 実施前に、Virtage Navigator を実行する管理サーバの IP アドレスを BSM IP Address に登録してください。 BSM IP Address に登録していない場合、本機能を実行することができません。 BSM IP Addressの設定方法については、「4.1 BSM IP Addressの設定」をご参照ください。

(1) Main ウインドウで Solution タブを選択します。

🔞 Main – Virtage Navigator Advanced	_ 🗆 ×
Virtage Navigator	HITACHI
File(F) Setting(S) Help(H)	
Profile LPAR Configuration Monitoring Viewer Migration F/W Update Solution	
Menu Add Delete	Update
System Configuration	

図 3-1 Main ウインドウ(Solution タブの選択)

(2) Easy Start ボタンをクリックします。

Easy Start ウインドウの Step1:Load HVM Setting File が表示されます。

Step1では、HVM 設定ファイルを読み込みます。

🗊 Main – Virtage Navigator Advanced	
Virtage Navigator	HITACHI
File(F) Setting(S) Help(H)	
Profile LPAR Configuration Monitoring Viewer Migration F/W Update Solution	
Easy Startを行う.	
Easy Start ※本螺能を利用するためには、別途サービスをご契約頂く必要があります。 サービス詳細については、日立営業窓口までお問合せ下さい。	
Easy Startの実行履歴を表示する。	
Easy Start Easy Startの実行履歴を確認できます.	
History	

図 3-2 Main ウインドウ(Easy Start クリック)

(3) Import ボタンをクリックします。

HVM 設定ファイル選択ウインドウが表示されます。

😈 Easy Start – Virtage Navigati	or					
➡ 1 : Load HVM Setting File	Step 1 : Load HV	M Setting Fi	le			
- 2 : Connection to SVP	HVM設定ファイルを指	 定します.				
- 3 : Initial Setting						
- 5 : Setting Result						
	HVM List					
	Import Dele	te				
	Imported File Mamo	HVM IP	Blade	Partition	Initial	SMT
	File Name	Address	Туре	NU.	Jetting	Coning
	I I	_	_	_		F
	J				Next	Close
						.:

図 3-3 Easy Start ウインドウ(Import クリック)

(4) HVM 設定ファイルを選択し、開く(0)ボタンをクリックします。(複数ファイル選択可能)

HVM設定ファイルを	選択してください。		? 🔀
ファイルの場所型:	🔁 HVM設定 💌	G 😰 🖻 🛄	
していた 最近使ったファイル	og SEBS-00001_CCA1_S0.enc og SEBS-00001_CCA1_S1.enc		
デスクトップ			
کې ۲۲ ۲۴۹ ک			
ער בארב אב א- דארב אב			
२२ २७२७-७	7ァイル名(1):		KQ
	ファイルの種類(T): HVM設定ファイル (*.enc)	**	ンセル

図 3-4 HVM 設定ファイル選択ウインドウ

(5) Next ボタンをクリックすると、Load HVM Setting File ウインドウ(確認画面)が表示されます。

🇊 Easy Start – Virtage Navigate	tor	_ 🗆 🗵
➡ 1 : Load HVM Setting File	Step 1 : Load HVM Setting File	
 2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 4 : LPAP Setting 	HVM設定ファイルを指定します.	
- 5 : Setting Result		
	HVM ListDelete	
	V Imported File HVM IP Blade Partition Initial Name Address Type No. Setting	SMT Config
	🗹 🛇 STPT-00001_CCB2_S9 172.16.25.110 BS320 9 Yes	Enable
	۲ Next	Close
		.::

図 3-5 Easy Start ウインドウ(Next クリック)

- (6) Yes ボタンをクリックします。
 - (a) Easy Start を利用して HVM 初期設定を実施する HVM を選択している場合は、Step2:Connection to SVP が表示されます。

Step2 では、SVP との接続確認をします。

(b) Easy Start を利用して HVM 初期設定を実施する HVM を選択していない場合は、Confirm ウインド ウが表示されます。

Confirm ウインドウで OK ボタンをクリックすると、Step4:LPAR Setting に進みます。 Step4 では、LPAR 設定を行います。

Load HVM Setting File	
2) Code : 20060300	
更新対象HVM構成情報のバックアップは事前に実施しましたか?	
Yes	No

図 3-6 Load HVM Setting File ウインドウ(Yes クリック)

このとき、Easy Start を実施する対象の HVM が Virtage Navigator に登録されていない場合は、Confirm ウインドウが表示されます。

Confirm ウインドウが表示された場合は、(7)に進みます。

Confirm ウインドウが表示されない場合は、(8)に進みます。

(7) OK ボタンをクリックします。

Imported File Name	△ HVM IP Addre	ss /
BS5H-000011_BS500/	A_1 172.16.63.121	

図 3-7 Confirm ウインドウ(OK クリック)

- (8) Initial Setting 列が"Yes"となっている HVM(HVM 初期設定を実施する HVM)については、以下の3項目 を入力します。
 - (a) SVP IP:SVP IPアドレス
 - (b) SVP User ID:SVP ログインユーザ ID
 - (c) SVP Password:SVP ログインパスワード

ただし、Easy Start を利用して HVM 初期設定を実施する HVM を選択していない場合は事前に HVM 初期 設定を済ませておく必要があるため、Step2 で設定することはありません。(11)に進み、Step3 から操 作を続行してください。

(9) Next ボタンをクリックします。

Confirmウインドウが表示されます。

🗊 Easy Start – Virtage Navigato	r				
🚱 1 : Load HVM Setting File	Step 2 : Connection t	o SVP			
2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 4 : LPAR Setting	SVPの接続情報を入力し,	SVPとの接続確i	認を行います.		
- 5 : Setting Result	HVM List				
	Imported File Name	HVM IP Address	SVP IP	SVP User ID	SVP Password
	🔽 👈 STPT-00001_CCB2_S9	9 172.16.25.110	input SVP IP Address	. xxxxxxxx	****
	1		Back	Next	Close

図 3-8 Easy Start ウインドウ(Next クリック)

(10) OK ボタンをクリックします。

上記(8)で設定した HVM が SVP との接続確認を完了すると、Step3: Initial Setting が表示されます。 Step3 では、HVM 初期設定を行います。

Confirm – Next	
2 Code : 30060399	
Connection to SVP の実行を開始します.	
よろしいですか?	
OK Car	icel

図 3-9 Confirm ウインドウ(OK クリック)

なお、IP アドレスがSVP のものでない場合、あるいはSVP のファームウェアバージョンが条件を満たしていない場合、Information列に以下のメッセージが表示されます。

Information

ErrorCode:30050101h, SVPにログインできませんでした。 SVPのIPアドレス, またはSVPのF/W Versionを確認後, 再度実行してください。

図 3-10 SVP との接続失敗時のメッセージ

(11) 対象 HVM の内容を確認し、Next ボタンをクリックします。



図 3-11 Easy Start ウインドウ(Next クリック)

(12) OK ボタンをクリックします。

上記(8)で設定したすべての HVM の初期設定を完了すると、Step4:LPAR Setting が表示されます。 Step4 では、LPAR 設定を行います。

Confirm – Next	
2 Code : 30060499	
Initial Setting の実行を開始します.	
よろしいですか?	
OK Car	icel

図 3-12 Confirm ウインドウ(OK クリック)

(13) 対象 HVM の内容を確認します。

Easy Start 完了後の対象 HVM を搭載しているブレードの電源の制御を行うこともできます。 ブレードの電源を再起動する場合は Power Control 列を"Reboot"に設定し、ブレードの電源を OFF に する場合は"Shutdown"に設定してください。

(14) View ボタンをクリックします。

🇊 Easy Start – Virtage Navigator	,					
🔮 1 : Load HVM Setting File	Step 4 : LPAR Setting	ş				
2 : Connection to SVP	I PAR語完を行います。					
🔮 3 : Initial Setting	Errage Errager.					
4 : LPAR Setting						
- 5 : Setting Result	HVM List					
	Imported File Name	HVM IP Address	Operate Power Source	Compare Config	Blade Type	Partition No.
	🔽 👈 STPT-00001_CCB2_S9	172.16.25.110	Reboot	View	BS320	9
	۲			Back	Next	Close

図 3-13 Easy Start ウインドウ(View クリック)

(15) Easy Start 完了後の予定構成は、Plan 列に示される構成になります。
 Plan 列で完了後の予定構成を確認し、Close ボタンをクリックします。

VM :	IP : 172.16.25	.110						Report
HVM	Configuraion Co	Impare List						
#	Target	Item	Before	Plan	After	Setting Change	Result	-
1	LPAR#1	Name	*	BS320-L1	-	0	-	
2	LPAR#1	Memory	*	2048		0	-	
3	LPAR#1	Scheduling Mo	*	S		0	-	
4	LPAR#1	Processors	*	12	-	0	-	-
5	LPAR#1	Auto Activation	*	OFF	-	0	-	
6	LPAR#1	Virtual Console	*	OFF	-	0	-	
7	LPAR#1	VNIC#0	*	1a	-	0	-	
8	LPAR#1	VNIC#1	*	1b	-	0	-	
9	LPAR#1	VNIC#2	*	2a		0	-	
10	LPAR#1	VNIC#3	*	2b		0	-	
11	LPAR#1	VNIC#4	*	3a	-	0	-	
12	LPAR#1	VNIC#5	*	3b		0	-	
13	LPAR#1	VNIC#6	*	4a	-	0	-	
14	LPAR#1	VNIC#7	*	4b		0	-	
15	LPAR#1	VFC#0	*	1		0	-	
16	LPAR#1	VFC#1	*	15	-	0	-	
17	LPAR#2	Name	*	BS320-L2		0	-	
18	LPAR#2	Memory	*	1024	-	0	-	
19	LPAR#2	Scheduling Mo	*	S	-	0	-	
20	LPAR#2	Processors	*	11	-	0	-	
21	LPAR#2	Auto Activation	*	OFF	-	0	-	
22	LPAR#2	Virtual Console	*	OFF		0	-	
23	LPAR#2	VNIC#0	*	1a	-	0	-	

図 3-14 HVM Configuration Compare View ウインドウ(Close クリック)

(16) Next ボタンをクリックします。

🗊 Easy Start – Virtage Navigato	r	_ 🗆 🗙
📀 1 : Load HVM Setting File	Step 4 : LPAR Setting	
 2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 4 : LPAR Setting 	LPAR設定を行います.	
- 5 : Setting Result		
	Name Address Power Source Compare	Blade Partition Type No.
	STPT-00001_CCB2_S9 172.16.25.110 Reboot View	BS320 9
	Back	lext Close

Confirmウインドウが表示されます。

図 3-15 Easy Start ウインドウ(LPAR Setting 内容の確認)

(17) OK ボタンをクリックします。

上記(13)で選択したすべての HVM の LPAR 設定が完了すると、Step5:Setting Result が表示されます。 Step5 では、設定結果を確認します。

Confirm – Next	
2 Code : 30060599	
- LPAR Setting の実行を開始します。	
よろしいですか?	
OK	Cancel //

図 3-16 Confirm ウインドウ(OK クリック)

(18) View ボタンをクリックします。

🗊 Easy Start – Virtage Navigato	r						_ 🗆 ×
1 : Load HVM Setting File	Step 5 : Se	tting Result					
 2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 4 : LPAR Setting 	設定が完了し 結果を確認し	ました. てください.					
➡ 5 : Setting Result	-HVM List						
	Result	Imported File Name	HVM IP Address	Compare Config	Blade Type	Partition No.	Init Set
	Success	STPT-00001_CCB2_S9	172.1626.110	View	15320	9	Yes
						Fi	nish

図 3-17 Easy Start ウインドウ(View クリック)

(19) Easy Start 完了後の結果の構成は、After 列に示される構成になります。
 After 列の内容と Plan 列の内容を比較し、Close ボタンをクリックします。

HVM.	Configuraion Co	mpare List						Report
#	Target	Item	Before	Plan	After	Setting Change	Result	^
1	LPAR#1	Name	*	BS320-L1	BS320-L1	0	0	
2	LPAR#1	Memory	*	2048	2048	0	0	
3	LPAR#1	Scheduling Mo	*	S	S	0	0	
4	LPAR#1	Processors	*	12	12	0	0	-
5	LPAR#1	Auto Activation	*	OFF	OFF	0	0	
6	LPAR#1	Virtual Console	*	OFF	OFF	0	0	
7	LPAR#1	VNIC#0	*	1a	1a	0	0	
8	LPAR#1	VNIC#1	*	1b	1b	0	0	
9	LPAR#1	VNIC#2	*	2a	2a	0	0	
10	LPAR#1	VNIC#3	*	2b	2b	0	0	
11	LPAR#1	VNIC#4	*	3a 🛛	3a	0	0	
12	LPAR#1	VNIC#5	*	3b	3b	0	0	
13	LPAR#1	VNIC#6	*	4a	4a	0	0	
14	LPAR#1	VNIC#7	*	4b	4b	0	0	
15	LPAR#1	VFC#0	*	1	1	0	0	
16	LPAR#1	VFC#1	*	15	15	0	0	
17	LPAR#2	Name	*	BS320-L2	BS320-L2	0	0	
18	LPAR#2	Memory	*	1024	1024	0	0	
19	LPAR#2	Scheduling Mo	*	S	S	0	0	
20	LPAR#2	Processors	*	11	11	0	0	
21	LPAR#2	Auto Activation	*	OFF	OFF	0	0	
22	LPAR#2	Virtual Console	*	OFF	OFF	0	0	

図 3-18 HVM Configuration Compare View ウインドウ(Close クリック)

(20) Finish ボタンをクリックします。

Confirmウインドウが表示されます。

 ② 1 : Load HVM Setting File ③ 2 : Connection to SVP ③ 3 : Initial Setting ④ 4 : LPAR Setting 	
 ② 2 : Connection to SVP 設定が完了しました。 ③ 3 : Initial Setting 谷 4 : LPAR Setting 	
◎ 3 : Initial Setting 結果を確認してください。 ◎ 4 : LPAR Setting	
S Setting Result	
HVM List	
Result Imported File HVM IP Compare Blade Partition Name Address Config Type No.	Init Set
Success STPT-00001_CCB2_S9 172.16.25.110 View BS320 9	Yes
	•
Fini	h

図 3-19 Easy Start ウインドウ(Finish クリック)

(21) OK ボタンをクリックします。



図 3-20 Confirm ウインドウ(OK クリック)

Easy Start が完了すると、Virtage Navigator インストールフォルダの VirNavi フォルダに Evidence フォルダを生成します。

Evidence フォルダには、エビデンスファイルが出力されます。

本ファイルで、設定結果をご確認ください。

(22) エビデンスファイルの出力先を確認し、OK ボタンをクリックします。

Confirm – Finish	
(1) Code : 30060603	
エビデンスファイルの出力は正常に終了しました。	
格納フォルダ:D¥VirtService¥VirtApp¥bin¥Evidence¥Report_AfterSettin	gs
6	OK
Letter and the second	

図 3-21 Confirm ウインドウ(OK クリック)

▲ 注意 Easy Start 実施前に、Virtage Navigator を実行する管理サーバの IP アドレスを BSM IP Address か HVM CLI IP Address に登録してください。 BSM IP Address か HVM CLI IP Address に登録していない場合、本機能を実行することができません。 BSM IP Addressの設定方法については、「4.1 BSM IP Addressの設定」をご参照ください。 HVM CLI IP Addressは、Virtage NavigatorのHVM Consoleから設定いただけます。

(1) Main ウインドウで Solution タブを選択します。



図 3-22 Main ウインドウ(Solution タブの選択)

(2) Easy Start ボタンをクリックします。

Easy Start ウインドウの Step1:Load HVM Setting File が表示されます。

Step1 では、HVM 設定ファイルを読み込みます。

🗊 Main - Virtage Navigator Advanced	
Virtage Navigator	HITACHI
File(F) Setting(S) Help(H)	
Profile LPAR Configuration Monitoring Viewer Migration F/W Update Solution	
Easy Start参行う. Fasy Start NM最定ファイルとりHWMの初期化やLPARの設定ができます。 ※本欄能を利用するためには、別途サービスをご契約頂く必要があります。 サービス詳細こういでは、日立電楽に目までお問告せ下さい。	
Land Face Startの宇行原展友実子する	
Easy Start History History	

図 3-23 Main ウインドウ(Easy Start クリック)

(3) Import ボタンをクリックします。

HVM 設定ファイル選択ウインドウが表示されます。

😈 Easy Start – Virtage Navigat	or						
➡ 1 : Load HVM Setting File	Step	1 : Load H\	/M Setting F	ile			
 2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 	HVM	受定ファイルを指	定します.				
- 4 : LPAR Setting							
- 5 : Setting Result	-HVM	list —					
	Im	port Dele	te				
		Imported File Name	HVM IP Address	Blade Type	Partition No.	Initial Setting	SMT Config
							Þ
						Nex	t Close
	-						.:

図 3-24 Easy Start ウインドウ(Import クリック)

(4) HVM 設定ファイルを選択し、開く(0)ボタンをクリックします。(複数ファイル選択可能)



図 3-25 HVM 設定ファイル選択ウインドウ

(5) Next ボタンをクリックすると、Load HVM Setting File ウインドウ(確認画面)が表示されます。

Step 1 : Load HVM Set	ting File				
HVM設定ファイルを指定します	ţ.				
HVM List Import Delete					
Imported File	HVM IP Address	Blade Type	Partition No.	Initial Setting	SMT Confie
🔽 🥝 BS2000-DP_IntialSetOf	f 172.16.32.9	BS2000-DP	1	No	Enable
4				Next	Close
	HVM設定ファイルを指定します HVM List Import Delete Importe File Name I ◆ BS2000-DP_IntialSetOf	HVM設定ファイルを指定します. HVM List Import Delete Import Address ✓ ● BS2000-DP_IntialSetOff 172.1632.9	HVM設定ファイルを指定します. HVM List Import Delete Name HVM IP Blade Address Type ✓ ● BS2000-DP_IntialSetOff 17216 <i>829</i> BS2000-DP	HVM設定ファイルを指定します. HVM List Import Delete Import Delete Name Address Type Parition Name No. ✓ ● BS2000-DP_brialSetOff 172.16.32.9 BS2000-DP 1	HVM設定ファイルを指定します. HVM List Import Delete Name HVM IP Blade Partition Initial Nome Address Type No. Setting SS2000-DP_InitialSetOff 17216329 BS2000-DP 1 No No No No Not

図 3-26 Easy Start ウインドウ(Next クリック)

(6) Yes ボタンをクリックすると、Confirm ウインドウが表示されます。



図 3-27 Load HVM Setting File ウインドウ(Yes クリック)

このとき、Easy Start を実施する対象の HVM が Virtage Navigator に登録されていない場合は、Confirm ウインドウが表示されます。

Confirm ウインドウが表示された場合は、(7)に進みます。

Confirm ウインドウが表示されない場合は、(8)に進みます。

(7) OK ボタンをクリックします。

Confir	m	×
٩	以下のHVMがProfileに登録されていません.	
	Imported File Name 🛛 🗠 HVM IP Address 🗠	
	BS2000-DP_IntialSetOff 172.16.32.9	
	 Profileに登録して、次に進みますか?	
	OK Cancel	

図 3-28 Load HVM Setting File ウインドウ(OK クリック)

(8) OK ボタンをクリックします。

Confirm – Load HVM Setting File	
2 Code : 30060206	
Initial Setting の対象HVMがないため、Step4へスキップします。	
ОКС	ancel

図 3-29 Confirm - Load HVM Setting File ウインドウ(OK クリック)

(9) 対象 HVM の内容を確認します。

Easy Start 完了後の対象 HVM を搭載しているブレードの電源の制御を行うこともできます。 ブレードの電源を再起動する場合は Power Control 列を"Reboot"に設定し、ブレードの電源を OFF に する場合は"Shutdown"に設定してください。

(10) View ボタンをクリックします。

🇊 Easy Start – Virtage Navigato	
📀 1 : Load HVM Setting File	Step 4 : LPAR Setting
 2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 4 : LPAR Setting 	LPAR設定を行います.
 4: LPAR Settine 5: Settine Result 	HVM List Inported File HVM IP Operation Compare Blade Partition Name Address Power Succe Config Blade Partition Image: Source Source Config Blade Source Source Image: Source Source Config Blade Partition Image: Source Source Source Source Source Image: Source Source Source Source Source Image: Source Source Source Source Source Image: Source Source Source Source Source
	Back Next Close
	, ,

図 3-30 Easy Start ウインドウ(View クリック)

(11) Easy Start 完了後の予定構成は、Plan 列に示される構成になります。Plan 列で完了後の予定構成を確認し、Close ボタンをクリックします。

/M	IP Address :	172.16.32.9						Report
HVM	Configuraion Co	ompare List						1
#	Target	Item	Before	Plan	After	Setting Change	Result	
1	LPAR#1	Name	*	L1	-	0	-	
2	LPAR#1	Memory	*	2048	-	0	-	
3	LPAR#1	Scheduling Mo	*	S	-	0	-	
4	LPAR#1	Processors	*	12	-	0	-	
5	LPAR#1	Auto Activation	*	OFF	-	0	-	
6	LPAR#1	Virtual Console	*	OFF	-	0	-	
7	LPAR#1	VNIC#0	*	1a	-	0	-	
8	LPAR#1	VNIC#1	*	1b	·	0	-	
9	LPAR#1	VNIC#2	*	2a	-	0	-	
10	LPAR#1	VNIC#3	*	2b	-	0	-	
11	LPAR#1	VNIC#4	*	3a 💦	-	0	-	
12	LPAR#1	VNIC#5	*	3b	-	0	-	
13	LPAR#1	VNIC#6	*	4a	-	0	-	
14	LPAR#1	VNIC#7	*	4b	-	0	-	
15	LPAR#1	VFC#0	*	1	-	0	-	
16	LPAR#1	VFC#1	*	15	-	0	-	
17	LPAR#2	Name	*	L2	-	0	-	
18	LPAR#2	Memory	*	1024	-	0	-	
19	LPAR#2	Scheduling Mo	*	S	-	0	-	
20	LPAR#2	Processors	*	11	-	0	-	
21	LPAR#2	Auto Activation	*	OFF	-	0	-	
22	LPAR#2	Virtual Console	*	OFF	-	0	-	
23	LPAR#2	VNIC#0	*	1a		0	-	

図 3-31 HVM Configuration Compare View ウインドウ(Close クリック)

(12) Next ボタンをクリックします。

 ① 1: Load HVM Setting File ② 2: Connection to SVP ③ 3: Initial Setting → 4: LPAR Setting - 5: Setting Result HVM List HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File HVM List Imported File	🗊 Easy Start – Virtage Navigator	r	_ 🗆 ×
 Q 2: Connection to SVP Q 3: Initial Setting 4: LPAR Setting 5: Setting Result HVM List Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No. Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No. Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No. Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No. Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No. Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No. Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No. Imported File HVM IP Operate Source Compare Blade Partition Imported File HVM IP Operate Source Compare Blade Partition	🚱 1 : Load HVM Setting File	Step 4 : LPAR Setting	
- 5 : Setting Result HVM List Imported File HVM IP Operate Compare Blade Partition No Source Config Type Reboot View BS2000-DP_IntialSetOff 17216829 Reboot View BS2000-DP 1	 2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 4 : LPAR Setting 	LPAR設定を行います.	
Back Next Close	- 5 : Setting Result	HVM List Imported File HVM IP Operate Compare Blade Name Address Power Source Config Type Imported File Bs2000-DP Next Bs2000-DP Bs2000-DP	Partition No. 1 Close

Confirm ウインドウが表示されます。

図 3-32 Easy Start ウインドウ(Next クリック)

(13) OK ボタンをクリックします。

上記(9)で選択したすべての HVM の LPAR 設定が完了すると、Step5:Setting Result が表示されます。 Step5 では、設定結果を確認します。

Confirm – Next	
2 Code : 30060599	
LPAR Setting の実行を開始します.	
よろしいですか?	
OK	Cancel //

図 3-33 Confirm ウインドウ(OK クリック)

(14) View ボタンをクリックします。

🇊 Easy Start – Virtage Navigato	or	
🚱 1 : Load HVM Setting File	Step 5 : Setting Result	
 2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 	設定が完了しました。 結果を確認してください。	
🖉 4 : LPAR Setting		
5 : Setting Result	-HV/M List-	
	Result Imported File HVM IP Compare Blade Partitic Name Address Config Type No.	m 🚦
	Success BS2000-DP_IntialSetOff 172.16.32.9 View S2000-DP	i N
		Finish

図 3-34 Easy Start ウインドウ(View クリック)

(15) Easy Start 完了後の結果の構成は、After 列に示される構成になります。 After 列の内容と Plan 列の内容を比較し、Close ボタンをクリックします。

HVM IP Address : 172.16.329									
н∨м #	Configuraion Comp	Dare List	Before	Plan	After	Setting Change	Result	_	
1	LPAR#1	Name	*	L1	L1	0	0		
2	LPAR#1	Memory	*	2048	2048	0	0		
3	LPAR#1	Scheduling Mo	*	S	S	0	0		
4	LPAR#1	Processors	*	12	12	0	0		
5	LPAR#1	Auto Activation	*	OFF	OFF	0	0		
6	LPAR#1	Virtual Console	*	OFF	OFF	0	0		
7	LPAR#1	VNIC#0	*	1a	1a	0	0		
в	LPAR#1	VNIC#1	*	1b	1b	0	0		
9	LPAR#1	VNIC#2	*	2a	2a	0	0		
10	LPAR#1	VNIC#3	*	2b	2b	0	0		
11	LPAR#1	VNIC#4	*	3a 🛛	3a	0	0		
12	LPAR#1	VNIC#5	*	3b	3b	0	0		
13	LPAR#1	VNIC#6	*	4a	4a	0	0		
14	LPAR#1	VNIC#7	*	4b	4b	0	0		
15	LPAR#1	VFC#0	*	1	1	0	0		
16	LPAR#1	VFC#1	*	15	15	0	0		
17	LPAR#2	Name	*	L2	L2	0	0		
18	LPAR#2	Memory	*	1024	1024	0	0		
19	LPAR#2	Scheduling Mo	*	S	S	0	0		
20	LPAR#2	Processors	*	11	11	0	0		
21	LPAR#2	Auto Activation	*	OFF	OFF	0	0		
22	LPAR#2	Virtual Console	*	OFF	OFF	0	0		

図 3-35 HVM Configuration Compare View ウインドウ(Close クリック)

(16) Finish ボタンをクリックします。

Confirmウインドウが表示されます。

1 : Load HVM Setting File	Ste	n 5 · Sc	asta - Daaula				
		p J . 06	etting Result				
2 : Connection to SVP 3 : Initial Setting 4 : LPAR Setting	設設結果	官が完了し 果を確認し	ました。 てください。				
5 : Setting Result		04.1.1.4					
		Result	Imported File Name	HVM IP Address	Compare Config	Blade Type	Partition No.
		Success	BS2000-DP_IntialSetOff	172.16.32.9	View	BS2000-DP	1
	I						Finish

図 3-36 Easy Start ウインドウ(Finish クリック)

(17) OK ボタンをクリックします。



図 3-37 Confirm ウインドウ(OK クリック)

Easy Start が完了すると、Virtage Navigator インストールフォルダの VirNavi フォルダに Evidence フォルダを生成します。 Evidence フォルダには、エビデンスファイルが出力されます。

本ファイルで、設定結果をご確認ください。

(18) エビデンスファイルの出力先を確認し、OK ボタンをクリックします。



図 3-38 Confirm ウインドウ(OK クリック)

4 オプション機能

4.1 BSM IP Address の設定

4.1.1 BS2000のBSM IP Addressの設定

BS2000のBSM IP Address は、システムコンソールを利用して設定します。

- 以下の操作をして、システムコンソールにログインします。
 ログイン ID を入力し、「Enter」を押します。
 パスワードを入力し、「Enter」を押します。
- (2) 以下の操作をして、システムコンソールを SVP コマンドモードにします。「S」を入力し、「Enter」を押します。
- (3) BSM IP address の登録をします。

「BSM」を入力し、「Enter」を押します。

「M」を入力し、「Enter」を押します。

編集する System Manager no(以下例の場合「3」)を入力し、「Enter」を押します。

System Manager Name(以下例の場合「Navi_BSM」)を入力し、「Enter」を押します。

System Manager IP Address(以下例の場合「172.16.0.246」)を入力し、「Enter」を押します。

SVP Alert level(以下例の場合「0」)を入力し、「Enter」を押します。

「Y」を入力し、「Enter」を押します。

(4) 設定した内容を確認します。



図 4-1 システムコンソール(BSM IP Address の設定)

4.1.2 BS320 の BSM IP Address の設定

- BS320のBSM IP Address は、システムコンソールを利用して設定します。
 - (1) 以下の操作をして、システムコンソールにログインします。
 - ログイン ID を入力し、「Enter」を押します。
 - パスワードを入力し、「Enter」を押します。
 - (2) 以下の操作をして、システムコンソールを SVP コマンドモードにします。
 - 「S」を入力し、「Enter」を押します。
 - (3) BSM IP address の登録をします。

「LCI」を入力し、「Enter」を押します。

「1」を入力し、「Enter」を押します。

編集する System Manager no(以下例の場合「2」)を入力し、「Enter」を押します。

System Manager Name(以下例の場合「Navi_BSM」)を入力し、「Enter」を押します。

System Manager IP Address(以下例の場合「172.16.0.246」)を入力し、「Enter」を押します。

SVP Alert Port Number(以下例の場合「20079」)を入力し、「Enter」を押します。

「y」を押します。

(4) 設定した内容を確認します。

🌉 172.16.25.1 - Tera Term VT	
ファイル(E) 編集(E) 設定(S) コントロール(Q) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
System Console LogintuserU1 System Console Password: (1) システムコンソールにログイン	
HITACHI Service Processor ALL RIGHTS RESERVED, COPYRIGHT (c) 2006, 2011, HITACHI, LTD. System Name: 4602R00 00009 System version: A1080	
======================================	
S) System (SVP command mode)	
P0) OS console #0 P9) OS console #9	
X.Ctrl-D) LOGOUT PLEASE SELECT MENU:S SYP>LCI (2) SVP コマンドモードにする	
< <setting connection="" info<br="" information-="" lan="" manager="" setting="" system="">rmation>></setting>	
No Sys Manager Name IP address Alert Port 1 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
0 . add 1 . edit 2 . delete 9 . quit (0-2,[q]) :1	
inter System Manager no: (1,2,8,4, [quit]) :2	
ystem Manager Name [Unchange]:Navi_BSM (3) BSM IP Addressを登録す	る
SyrAlert Port Number [Unchange]: 20079 Confirm? (y/[n]):y	
Wo Sys Madager In address Autory Port 1 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
0 . add 1 . edit 2 . delete q . quit (0-2,[q]) :∎	

図 4-2 システムコンソール(BSM IP Address の設定)

4.1.3 BS500のBSM IP Addressの設定

BS500のBSM IP Address は、Web コンソールを利用して設定します。

- (1) 以下の操作をして、システムコンソールにログインします。
 - User ID を入力し、「Tab」を押します。 Password を入力し、「Tab」を押します。 Log In ボタンを押します。



図 4-3 Web コンソール(ログイン)

(2) Administration タブを選択します。

Bla	deSymphony BS50	0			1			HITACH
77-116 , 181	1 167				94-91	DI 85500#1(20)	読在のユー	71 administrator
Dashboa	ird Resources	Alerts	Administration					
シャーシ状態	(85500#1(20))							
	11 Ma				- 147	200-22		正常
				-	150	サーバフレー	E	正常
	ferminent ferminent		, ,	,		2459 623	-sta	正常
	A CONTRACTOR OF A CONTRACTOR O		9.000 E 0-0 0-0			242644	sta-ik	至*
	2				3	Zrueda-	ile .	Ξ×
	4 8					<u>●</u> <u> </u>	lk	2 %
					5	US8#0		
	and the second se					USD#1		*****
電力サマリ			- D 92	テムイベ	ことものグ			- I
入力最力(AC)	現在入力電力	1,250 W	99	3 件の種	查/攀当があります	9	10 2:17	0 🏦 📽 : 823
	運用時電力制御上閉锚(APC)AC換算(統在值)	3,010 W						11 ctod 4 cc+0.018
直発電力(D-C)	現在演員電力	633 W						32242 3.214244
	证用时电力制象上限值(APC)(现在值)	2,925 W	71.7	6-06	84	€)a=1/	78.9	· xyt=9
	設備保護電力制得上原信(EPC)	2,436 W	1		2012-08-06 2	Server Blade	5	ostatt
	定時電力	3,125 W	1.0		2012-08-06 2	Server Blade	5	P.On随罐完了
			1		2012-00-06 2	Server Blade	5	BMC精暖イベン不発生
					2012-08-06 2	Server Blade	5	OEM BIOSHIE
			- C.		2012-08-06 2	Server Blade	5	サーバブレード 構成情報パニー
			1.1		2012-08-06 2	Server Blade	5	BMC情報イベル発生
			1		2012-08-06 2	Server Blade	5	CASPO Information
					2012.02.04.2	Come Blade		CASED Information

図 4-4 Web コンソール(Administration タブの選択)

(3) JP1/SC/BSM 連携を選択します。

BladeSymphor	ny BS500			HITACHI
77-116 MAR - 167			シャーシID: 85500#1(20) 現在の	コーザ: administrator ロジアのト
Dashboard Resource	Alerts	Administration		
Administration	Administration > ;	1-11-11		
Administration	ネューザアカウント			Action T
2 2-920-16	ユーザ谷	状態	□ − <i>I</i> }	
Egricose © Mituiz जि. वाधाद जि. वाधाद के वाधाव Egrina arganism कि कामक कि कामक कि कामक कि कामक कि कामक कि कामक कि कामक कि कि कि कि कि क	administrator	85	Administrators	
General Tasks				
	-			
				111 (an) (an)
				14.50

図 4-5 Web コンソール(JP1/SC/BSM 連携の選択)

(4) サーバ設定追加ボタンをクリックします。

77-14 . 1814 . ~147 .					54-51D1 BS	500#1(20) 現在のユーザ = *	dministrator 027%
Dashboard Res	ources A	lerts	Administ	ration			
Administration	Administrati	on > <u>JP1</u>	SC/85M68M				
Administration		BSM建物					Action
2 - ∀≥□-ル	智健サーバ名	1P7	FLR	アラートボート曲号	アラートレベル	アラートリーラ・(1955(19)	アラートリーライ建設時間に、
LDAP	BSMtest1	17	16.3.211	20079	IIA	5	10
もかいまご管理	BSMtest2	17	16-2-41	20079	All	5	10
M BINES	B-SMtest3	17	2.16.22.240	20079	All	5	10
B SHAD							
Ent-mail@SUM	_						
AP1/SC/BSMI					-		
Less a							
General Tasks							
2 ログインアカウン小説定							

図 4-6 Web コンソール(サーバ設定追加のクリック)

(5)管理サーバ名、IPアドレスを入力し、アラートレベルを選択後、確認ボタンをクリックします。 このとき、アラートポート番号、アラートリトライ間隔(秒)、およびアラートリトライ継続時間(分) の設定を変更することもできますが、通常はこれらの設定変更は不要です。

ー バ設定追加 ネジェノトモジュールに登録しているJP1/	SC/BSM連携サーバの設定?	を追加します			×
JP1/SC/BSM連携サーバ設定		(初期値設定		
管理サーバ名	BSMtest4				
IPアドレス	172.16.1.240				
アラートボート番号	20079				
アラートレベル	All	•			
アラートリトライ間隔(秒)	5				
アラートリトライ継続時間(分)	10				
				確認	キャンセル

図 4-7 Web コンソール(サーバ設定)

(6) 設定内容を確認し、OK ボタンをクリックします。

IJ	ーバ設定追加		×
7	ネジメントモジュールに登録しているJP:	L/SC/BSM連携サーバの設定を追加します。よろしければ(OK)ボタンを押してください。	
			_
	JP1/SC/BSM連携サーバ語	定	
	管理サーバ名	BSMtest4	
	IPアドレス	172.16.1.240	
	アラートボート番号	20079	
	アラートレベル	All	
	アラートリトライ間隔(秒)	5	
	アラートリトライ継続時間(分)	10	
		戻る のK キャンセノ	v

図 4-8 Web コンソール(サーバ設定)

(7) 設定が反映されたことを確認します。

Blades	Symphony	BS500				1		HITACH
ファイルレ 説作 へ Dashboard	Resources	Al	erts	Administ	ration	54-51Di B	5500#1(20) 現在のユーザ: a	dministrator
Administration			> <u>191/50/</u>	noncare				TH
Administration		2 101/SC/8	SMILL					Action T
🧝 ユーザとロール		管理サーバ名	IPTEL2	2	アラートボート番号	アラートレベル	アラートルライ開展(例)	アラートリトラィオ社会時間(い
LOAP		8SMtest1	172.16	.3.211	20079	All	5	10
るいためのでは、 ないためのでは、 ないためので		BSMtest2	172.16	2.41	20079	AJI	5	10
() MARE		DGMtest0	172.16	22.240	20079	All	5	10
A BIBICT		8SMtest4	172.16	172.16.1.240	20079	All	5	10
₩ サービス								
SNMP								
E Taileskatt								
C ANNO SCIESTING								
[[] at one								
-								
General Tasks								
AT タンプログ								
2 ログインアカウント設定	-							
	_							
							9~/SEESANO (9~/080	ERRAL サーバ放走構築

図 4-9 Web コンソール(サーバ設定の確認)

4.2 BS320のBIOSの設定

(1) リモートコンソールを起動します。

リモートコンソールが起動されたところで、接続ボタンをクリックします。 この段階では、HVM が起動していないため、画面には何も表示されません。

回りモートコンソー,	IL X
IPアドレス:	172.16.25.12
ニックネーム:	
ユーザID:	user01
パスワード:	****
术一卜番号:	5001
	▶ パスワードを記憶する
	▶ 現在の接続を切断する
	接続 キャンセル

図 4-10 Initial Setup of HVM ウインドウ(リモートコンソールのログイン画面)

- (2) Tera Term で SVP システムコンソールにログインします。
 - 「S」を入力し、「Enter」キーを押します。



図 4-11 SVP へのログイン

- (3)「PC」を入力し、「Enter」キーを押します。
- (4) 「0」を入力し、「Enter」キーを押します。
- (5) 「パーティション番号」を入力し、「Enter」キーを押します。
- (6) 「0」を入力し、「Enter」キーを押します。
- (7) 「y」を入力します。



図 4-12 ブレード電源 ON

リモートコンソールに戻り、BIOSの設定をします。

フルスクリーンでサーバブレードの BIOS のスクリーンが表示されます。

[Alt]+[q]を押下することで部分描写とフルスクリーンを交互に切り替えることができますが、操作は フルスクリーンに限られます。

Fhoenix SecureCore(tm) Server Copyright 1905-2888 Phoenix Technologies Ltd. All Rights Reserved BIOS Version: 7FRWHT-C-614 Bwild Time: 11/24/18 16:58:36 Core Label: 1700DIX SecureCore(tm) - Rev 1.181 (LF) CFU = 2 Processors Detected, Cores per Processor = 4 Intel(18) Novella Core (18) - 256/48 2 2.656Hz BIO4M System RMM Passed
Fress (F2) to enter SETUP, (F9) or (F12) to enter Boot Renm

図 4-13 リモートコンソール(BIOS の設定)

(8) ブレード起動中に、「F2」キーを押します。



図 4-14 サーバブレードの起動画面

BIOS 設定画面が表示されます。



図 4-15 ブレード起動中(BIOS 設定画面の表示)

(9) [Main]-[Advanced Processor Options]に移動します。

[NUMA Aware]が[Disabled]に設定されていることを確認します。

[Intel@ HT Technology]が[Enabled]に設定されていることを確認します。

[Intel(R) Virtualization Technology]が[Enabled]に設定されていることを確認します。

Phoenix SecureCore(tm) Setup Uti	lity			
Main				
Advanced Processor Options	Item Specific Help			
▶ CPU Power Management				
NUMA Aware [Disabled]				
Active Processors [Max. Cores] Intel@ HT Technology [Enabled]				
Intel(R) Virtualization Technology [Enabled]				
Execute Disable Bit [Enabled] Hardware Prefetcher [Enabled]				
Adjacent Cache Line Prefetch [Enabled]				
Discrete MTRR Allocation [Disabled]				
F1 Help †4 Select Item -/+ Change Values Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select ▶ Sub-Men	F9 Setup Defaults nu F10 Save and Exit			

図 4-16 BIOS 設定画面([Advanced Processor Options]の確認)

(10) [Advanced]-[PnP Configuration]に移動します。

[LAN1-1 Option ROM Scan]が[Enabled]に設定されていることを確認します。 [LAN1-2 Option ROM Scan]が[Enabled]に設定されていることを確認します。 [Onboard LAN2 Control]が[Enabled]に設定されていることを確認します。

Phoenix : Advanced	SecureCore(tm) Set	tup Utility
PnP Configure	ation	Item Specific Help
Onboard LAN1 Control LAN1-1 Option ROM Scan: LAN1-2 Option ROM Scan: Onboard LAN2 Control iSCSI OPROM : SAS Option ROM Scan: Wake On LAN/PHE	(Enabled) Enabled] (Enabled] (Enabled] Disabled] (Enabled] (Enabled]	Enable oe Disable the onboard LAN Device by setting item to the desired value.
F1 Help f4 Select Item	-/+ Change Va	ilues F9 Setup Defaults

図 4-17 BIOS 設定画面([PnP Configuration]の確認)

(11) [Server]-[Console Redirection]に移動します。
 [Com Port Address]が[On-board COM A]に設定されていることを確認します。
 [Baud Rate]が[9600]に設定されていることを確認します。
 [Console Type]が[VT100]に設定されていることを確認します。
 [Flow Control]が[None]に設定されていることを確認します。
 [Continue C.R. after POST]が[On]に設定されていることを確認します。

Ph	oenix SecureCore(tm) Setu Server	p Utility
Console	Redirection	Item Specific Help
Con Port Address Baud Rate Console Type Flow Control Continue C.R. after	(]n-board COM A) [9680] [V1100] [Vone] [On]	If enabled, it will use a port on the motherboard.
F1 Help 14 Selec	t Item -∕+ Change Valı	ues F9 Setup Defaults

図 4-18 BIOS 設定画面([Console Redirection]の確認)

(12) [Boot]に移動します。

[Boot Priority order]に[USB HDD: Generic STORAGE DEVICE]が設定されていることを確認します。 [Boot Priority order]に[PCI BEV: IBA GE Slot xx00 vxxxx]が設定されていることを確認します。 [Boot Priority order]に[PCI BEV: IBA GE Slot xx01 vxxxx]が設定されていることを確認します。 ※[x]キーにより、[Boot Priority order]に移動することができます。

	Pho	enix SecureCo	ore(tm) S	etup Util	lity
Main	Advanced	Security	Server	Boot	t Exit
Poot v	mionitu ondon				Item Specific Help
Boot 2: 3: 4: 5: 6: 7: 8: Exclud :	USB HDD: Gener PCI BEU: IBA (PCI BEU: IBA (PCI BEU: IBA (Legacy Networl Bootable Add-	ic STORAGE D SE Slot 0200 E Slot 0201 order: Card in Cards	EUICE 01322 01322		Keys used to view or configure devices: Up and Down arrows select a device. <+> and <-> moves the device up or down. <f> and <r> specifies the device fixed or removable. <x> exclude or include the device to boot. <shift +="" 1=""> enables or disables a device. <1 - 4> Loads default boot sequence.</shift></x></r></f>
F1 He	lp ↑↓ Select	: Item -/+ Menu Enter	Change	Values	F9 Setup Defaults

図 4-19 BIOS 設定画面([Boot]の確認)

(13) [Exit]に移動します。

[Saving Changes]を選択します。

[Yes]を選択します。

		Phoe	nix Sec	ureCore	(tm) Setu	up Utili	ity		
Main	Adva	nced	Secur i	ty	Server	Boot	Exi	t	
Exit	Sauing C	hannes					Item	Specific	Help
Exit Load Disc Save	Discardi Setup De ard Chang Changes	ng Chang faults es	es				Exit Sy save yo CMOS.	stem Setu ur change	p and s to
F1 Esc	Help ↑↓ Exit ↔	Select Select	Item Menu	-/+ Enter	Change U Execute	Jalues Command	F9 1 F10	Setup De Save and	faults Exit

図 4-20 BIOS 設定画面([Saving Changes]の確認)

(14) ターミナルアプリケーションに戻り、ブレードの電源を OFF にします。

SVP システムコンソールは、ユーザ操作が 10 分以上行われなかった場合、自動でログアウトします。 自動ログアウトが行われた場合、再度 SVP システムコンソールにログインしてください。

/ 注意

(15) SVP コマンドモードで、「PC」を入力し、「Enter」キーを押します。

- (16) 「F」を入力し、「Enter」キーを押します。
- (17) 「パーティション番号」を入力し、「Enter」キーを押します。
- (18) 「0」を入力し、「Enter」キーを押します。
- (19)「y」を入力します。



図 4-21 ブレード電源 OFF

5 注意事項

5.1 HVM 構成情報をクリアした場合

SVP DC コマンドなどで HVM 構成情報をクリアした後に Easy Start を使用する場合、以下の手順にしたがっ て事前に HVM を起動してください。HVM の事前立上げをせずに Easy Start を利用した場合、HVM 起動ステッ プでタイムアウトが発生します。

<HVM 構成情報をクリア後の HVM の事前立上げ>

- (1) SVP システムコンソール(Web または Telnet)から HVM を起動する。
- (2) シリアル端末ベースの HVM スクリーン操作で HVM をシャットダウンする。

5.2 HVM 構成情報をリストアした場合

SVP UBR コマンドや JP1/SC で HVM 構成情報をリストアした後に Easy Start を使用する場合、以下の手順に したがって事前に HVM を起動してください。HVM の事前立上げをせずに Easy Start を利用した場合、HVM 起 動ステップでタイムアウトが発生します。

<HVM 構成情報リストア後の HVM の事前立上げ>

- (1) SVP システムコンソール(Web または Telnet)から HVM を起動する。
- (2) シリアル端末ベースの HVM スクリーン操作で HVM をシャットダウンする。

5.3 BS320 の SVP バージョンが A1065 の場合

BS320 の SVP のバージョンが A1065 のときに Easy Start を使用すると、非常に稀なケースで SVP に異常が発 生する場合があります。Easy Start は、以下に示す手順にしたがってご利用ください。なお、装置の電源 Off/On については、「BladeSymphony BS320 Virtage セットアップガイド 基本構成編」をご参照ください。 SVP バージョンが A1070 以降の場合は、装置の電源 Off/On をする必要はありません。

<SVP のバージョンが A1065 のときの Easy Start 手順>

- (1) すべての対象サーバブレードを Easy Start で初期起動します。
- HVM Console を使って HVM をシャットダウンします。
 サーバブレードの電源が自動的に Off になります。
- すべてのサーバブレードの電源 Off を確認し、SVP をシャットダウンします。
 装置の電源が自動的に Off になります。
- (4) ラックキャビネットのリアドアを開け、電源ケーブルを電源コンセントからはずします。
- (5) はずした電源ケーブルを電源コンセントに接続し、SVP が立ち上がるまで待ちます。
- (6) すべてのサーバブレードの電源スイッチを入れます。
- (7) 以降、Easy Start を利用しないでください。

5.4 Easy Start で HVM が起動しなかった場合

Easy Start で HVM が起動しなかった場合は、リモートコンソールを起動してください。

リモートコンソールに"Operating System not found"と表示された場合は、BIOSのBoot Priority Orderから起動に必要な設定が外れているために HVM が起動できなかったと考えられます。



図 5-1 リモートコンソールウインドウ(Operating System not found)

この現象は、パーティションの OS モードが HVM の場合に BIOS で以下の操作を行うことによって発生します。

(1) Boot メニューで、"USB HDD: Generic STORAGE DEVICE"を"Excluded from boot order"に指定する。

(2) Exit メニューで、"Load Setup Defaults"を実施する。

本現象が発生した場合は、対象パーティションを再起動し、BIOSのBoot Priority Orderを設定した後、再度Easy Startを実施してください。

BIOSのBoot Priority Orderの設定につきましては、「4.2 BS320のBIOSの設定」をご参照ください。

5.5 Code: 30060201 が発生する場合

Easy Start ウインドウの Step1: Load HVM Setting File で Code:30060201 が発生した場合、以下の操作を 行った可能性があります。

・既に読み込んだ HVM 設定ファイルを選択し、Import ボタンを実行した場合

本エラーが発生した場合は、選択した HVM 設定ファイルが既に読み込み済みのファイルでないかご確認くだ さい。

5.6 Code: 30068001 が発生する場合

Easy Start ウインドウの Step1: Load HVM Setting File で Code: 30068001 が発生した場合、HVM 設定ファイ ルの読み込みに失敗している可能性があります。

以下の操作を行っていないか確認してください。

·選択したファイルに HVM 設定ファイル以外のファイルが含まれている場合 該当する場合は、HVM 設定ファイルのみを選択し、Import ボタンを実行してください。

6 トラブルシュート

6.1 エラーコード一覧

「BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編」のメッセージー覧をご参照ください。

7 障害時の対応について

「BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編」の障害時の対応についてをご参照ください。

8 アイコン一覧

No.	アイコン	アイコン説明
1	0	ステップが正常終了したことを表します
	1	【Windows Server 2003の場合】 ステップで警告が発生したことを表します
2	1	【Windows Server 2003 以外の場合】 ステップで警告が発生したことを表します
3	8	ステップでエラーが発生したことを表します
4	?	実行結果が不明であることを表します
5	0	操作中のステップで設定対象でないことを表します
6	P	実行準備が完了したことを表します
7	•	実行中であることを表します
8	8	処理を中断していることを表します
9	-	処理を中断したことを表します

表 8-1 アイコン一覧

9 変更来歴

Virtage Navigator ユーザーズガイド Easy Start 編の変更来歴を以下に示します。

表 9-1 Virtage	Navigator	ユーザーズガイ	ドEast	sy Start編	変更来歴
---------------	-----------	---------	-------	-----------	------

Version	Revision	章	変更内容
V02-03	2. 30	_	初版
	2. 31	3. 2	表 3-1 を変更しました。
		3. 2	設定手順の記述の前に注意を追記しました。
		4. 1	BS2000のBSM IP Addressの設定について記載しました。
V03-00/A	3. 01	_	Revision を 3.01 にしました。
V03-00/B	3. 02	_	Revision を 3.02 にしました。
V03-00/D	3.04	—	Revision を 3.04 にしました。
V03-00/E	3. 05	—	BS500の LPAR 設定をサポートしました。
		4. 1. 3	BS500のBSM IP Addressの設定について記載しました。
	3.05/A	—	Revision を 3.05/A にしました。
V03-01	3. 10	—	Revision を 3.10 にしました。
V03-02	3. 20	—	「重要なお知らせ」に他社ソフトウェアのインストールについての記載を 追加しました。
	3. 20/A	—	Revision を 3.20/A にしました。
V03-02/A	3. 20/B	—	Revision を 3.20/B にしました。
V03-03	3.30	—	Revision を 3.30 にしました。
V03-04	3.40	—	Revision を 3.40 にしました。
V03-04/A	3. 41	—	Revision を 3.41 にしました。
V03-05	3.50	2	「表 2-7 Easy Start のサポート機能(BS500 BS520X サーバブレードモデ ル)」を追加しました。
		2	「表 2-8 Easy Startのサポート機能(BS2500 BS520X サーバブレードモデ ル)」を追加しました。